BIKE-O&COMPANY

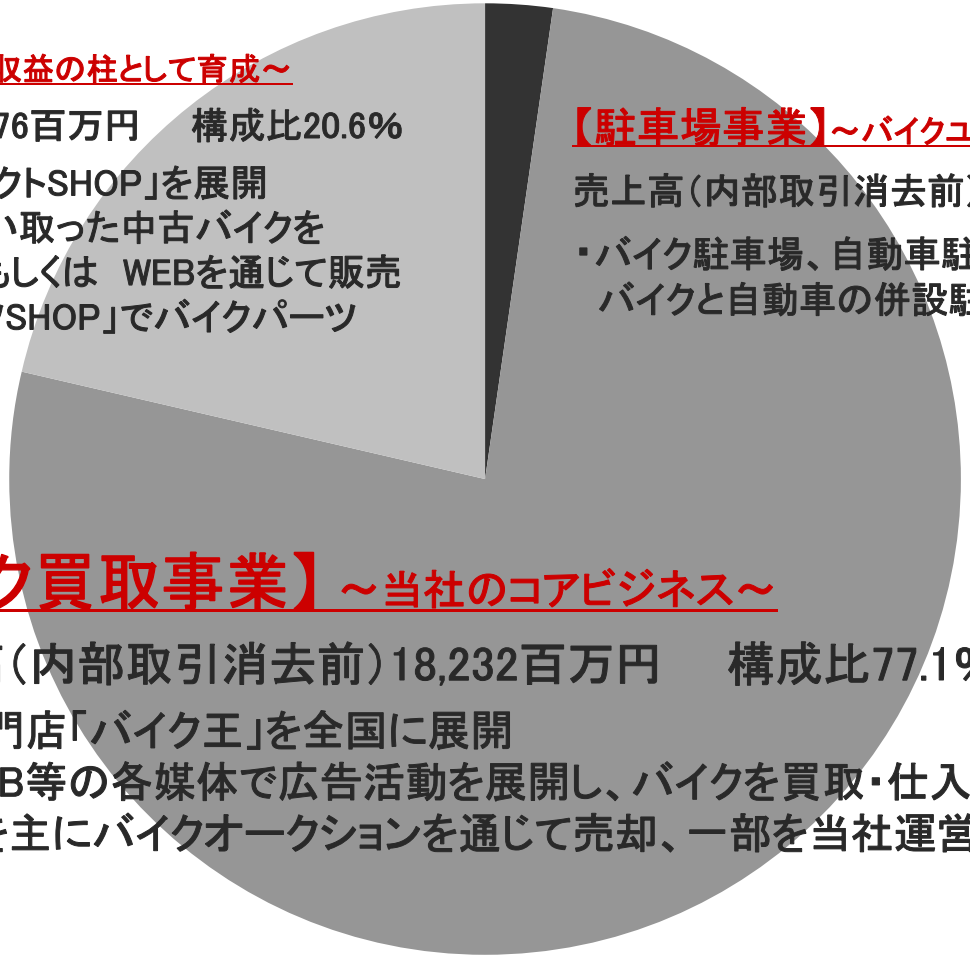
2012.12.1-2013.2.28

2013年11月期　第1四半期 決算説明資料



株式会社バイク王＆カンパニー

売上高20,768百万円（2012年11月期）



【バイク小売事業】～第二の収益の柱として育成～

売上高（内部取引消去前）4,876百万円　構成比20.6%

・直営小売店「バイク王ダイレクトSHOP」を展開
　主に「バイク王」において買い取った中古バイクを
　「バイク王ダイレクトSHOP」もしくは　WEBを通じて販売
・WEBショップ「バイク王パーツSHOP」でバイクパーツ
　を販売

【駐車場事業】～バイクユーザーの利用環境整備～

売上高（内部取引消去前）541百万円　構成比2.3%

・バイク駐車場、自動車駐車場、
　バイクと自動車の併設駐車場等を展開

【バイク買取事業】～当社のコアビジネス～

売上高（内部取引消去前）18,232百万円　構成比77.1%

・買取専門店「バイク王」を全国に展開
　TV、WEB等の各媒体で広告活動を展開し、バイクを買取・仕入
　これらを主にバイクオークションを通じて売却、一部を当社運営の小売店にて販売

目　次

【個別】	2013年11月期　第１四半期 業績の概況	P.4
【セグメント別】	2013年11月期　第１四半期 業績の概況	P.11
【個別】	2013年11月期　第１四半期 財政状態	P.16
【個別】	2013年11月期　通期見通し/配当について	P.18
	今後の展開について	P.22
参考資料	[会社概要、ビジネスモデル等]	P.25

注　原則として表示金額については百万円未満切捨てで表示しております。

■本資料における当期【個別】と前期【連結】の記載につきまして
当社は、2012年３月１日付で当社を存続会社、連結子会社である株式会社パーク王を消滅会社として吸収合併し、非連結会社となりました。このため、2012年11月期第２四半期決算から非連結決算【個別】へ移行しております。
本資料では、事業の継続性の観点から決算短信の記載方式ではなく、2012年11月期第１四半期の実績を1Qパーク王実績が含まれた連結をベースに、一部ページで2012年11月期第１四半期の個別実績に1Qパーク王の実績を単純合算したみなし連結で記載しております。
また、比較可能性を担保するため、一部ページでパーク王1Q実績を含まない【個別】の実績をご参考として記載しております。

BIKE-O &COMPANY

2013年11月期 第1四半期 業績の概況

【セグメント別】2013年11月期　第1四半期 業績の概況

2013年11月期　第1四半期 財政状態

2013年11月期　通期見通し/配当について

今後の展開について

2013年11月期 第1四半期　決算のポイント

決算のポイント

【個別】売上高　　4,128百万円（前年同期比　▲577百万円、▲12.3%）
　　経常利益　　▲403百万円（前年同期比　▲280百万円、　—　）

※2012年11月期（連結）実績値を用いて算出

●バイク買取事業

・販売台数が前年同期比で10.9%減
⇒詳細はP.12参照

・平均売上単価、平均粗利額ともに前年同期を若干下回って推移

●バイク小売事業

・第二の成長の柱であるバイク小売事業は前年同期比で28.1%の増収
⇒詳細はP.14参照

●駐車場事業

・料金改定、事業地開発を推進し、堅調に推移

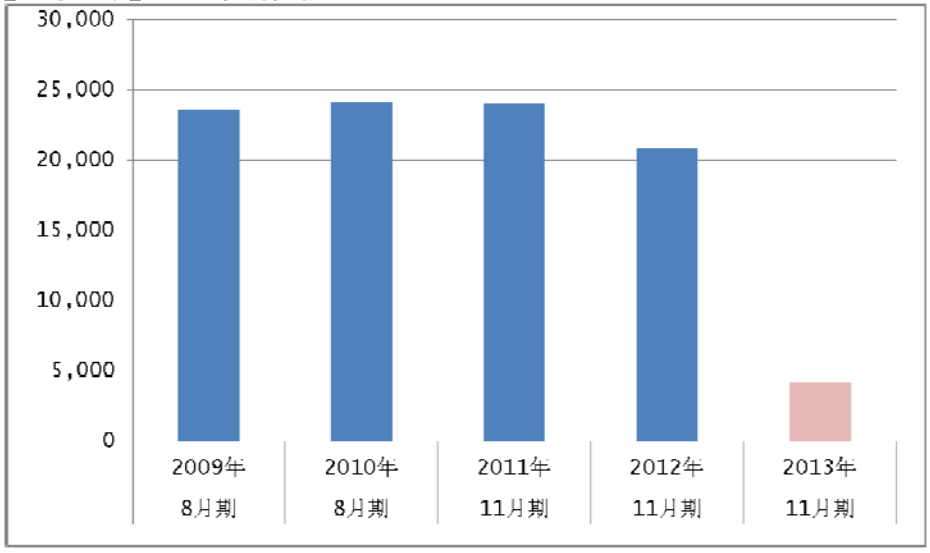
2012,(C) BIKE O & COMPANY Ltd.

2013年11月期 第1四半期　損益計算書

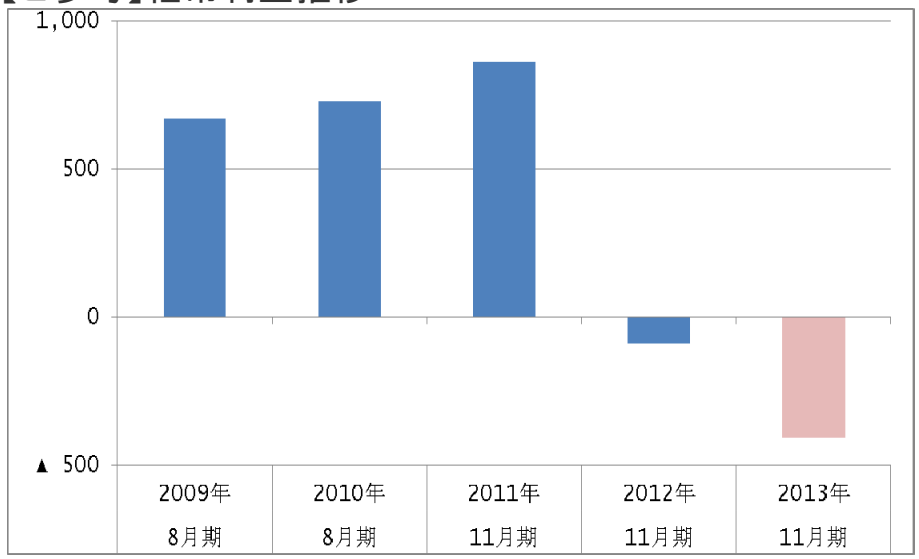
（単位:百万円）

	2012年11月期 第1四半期【連結】		2013年11月期 第1四半期【個別】		増減額	増減率	【参考】2012年11月期 第1四半期【個別】	
	金 額	百分比	金 額	百分比			金額	増減率
売上高	4,706	100.0%	4,128	100.0%	▲ 577	▲ 12.3%	4,538	▲ 9.0%
売上原価	2,227	47.3%	1,973	47.8%	▲ 253	▲ 11.4%	2,071	▲ 4.7%
売上総利益	2,479	52.7%	2,155	52.2%	▲ 323	▲ 13.1%	2,467	▲ 12.6%
販管費	2,646	56.2%	2,605	63.1%	▲ 41	▲ 1.6%	2,628	▲ 0.9%
営業利益	▲ 167	－	▲ 449	－	▲ 282	－	▲ 161	－
経常利益	▲ 123	－	▲ 403	－	▲ 280	－	▲ 108	－
当期純利益	▲ 91	－	▲ 257	－	▲165	－	▲ 82	－

【ご参考】売上高推移



【ご参考】経常利益推移



注　2010年11月期は決算期変更（8月⇒11月）にともなう3ヶ月決算のためグラフを省略しております。

注　2012年11月期2Qより非連結決算に移行しております。

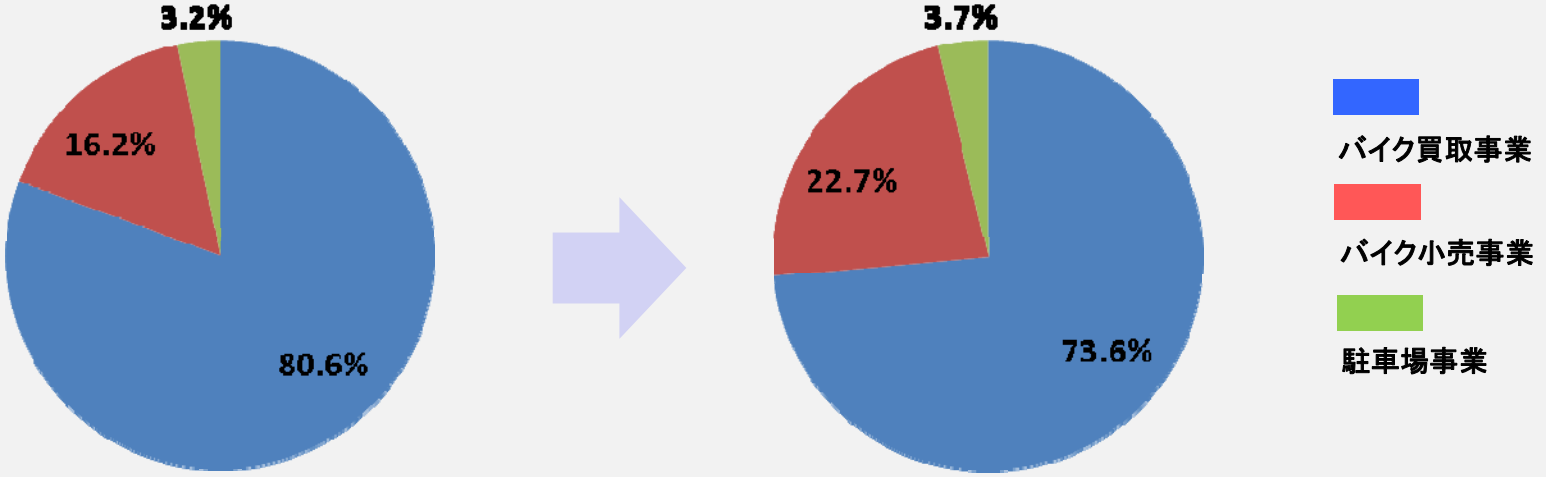
2012,(C) BIKE O & COMPANY Ltd.

2013年11月期 第1四半期　セグメント別売上高

（単位:百万円）

	2012年11月期 第1四半期【連結】		2013年11月期 第1四半期【個別】		増減額	増減率	2012年11月期 第1四半期【個別】	
	金額	構成比	金額	構成比			金額	増減率
売上高	4,706	–	4,128	–	▲ 577	▲ 12.3%	4,538	▲ 9.0%
バイク買取事業	4,196	80.6%	3,503	73.6%	▲ 693	▲ 16.5%	4,196	▲ 16.5%
バイク小売事業	843	16.2%	1,080	22.7%	236	28.1%	843	28.1%
駐車場事業	167	3.2%	177	3.7%	9	5.9%	–	–
内部消去	▲ 501	–	▲ 632	–	▲ 131	–	▲ 501	–

■内部取引消去前セグメント別売上高構成比

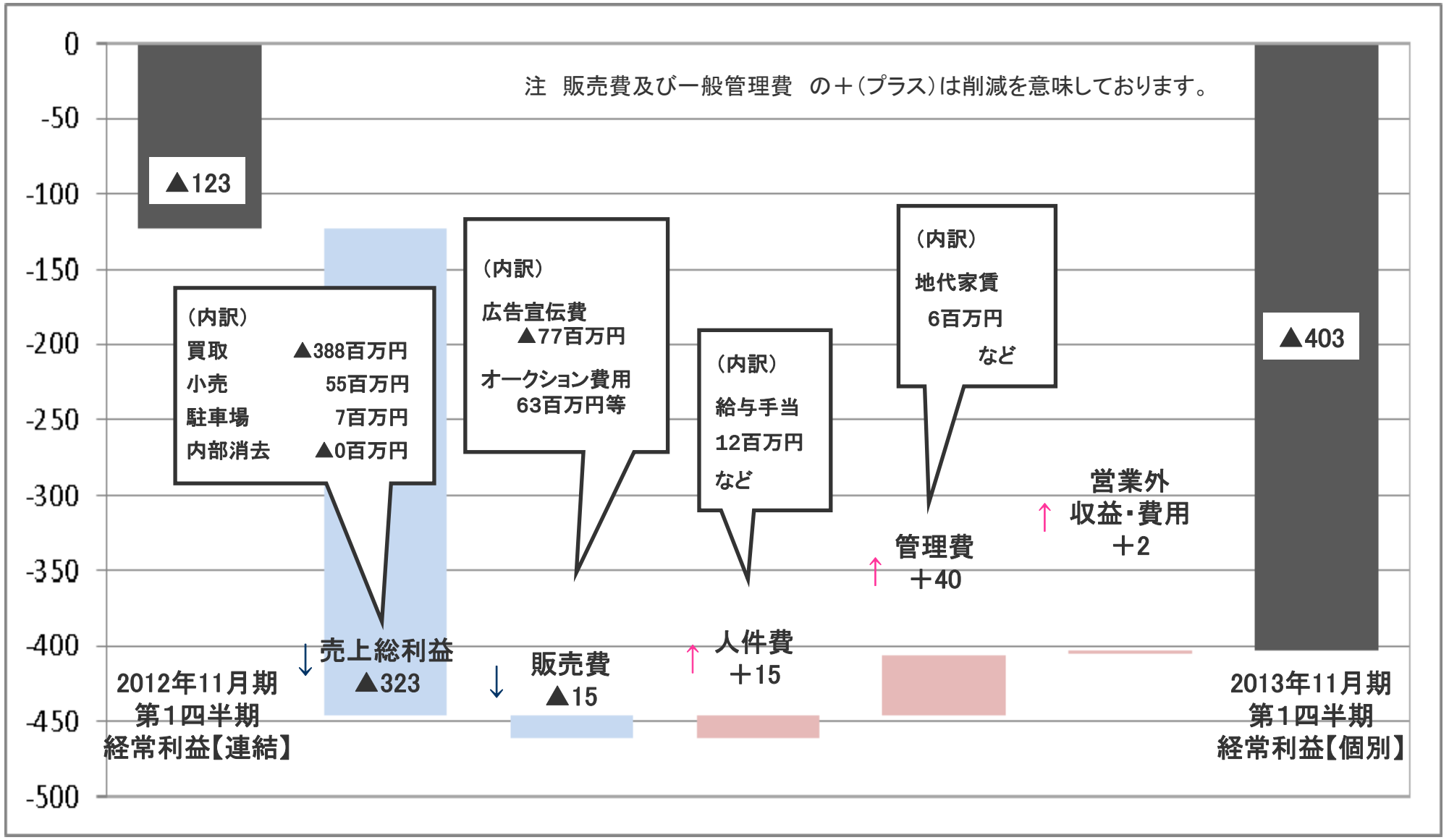


2012年11月期
第1四半期【連結】

2013年11月期
第1四半期【個別】

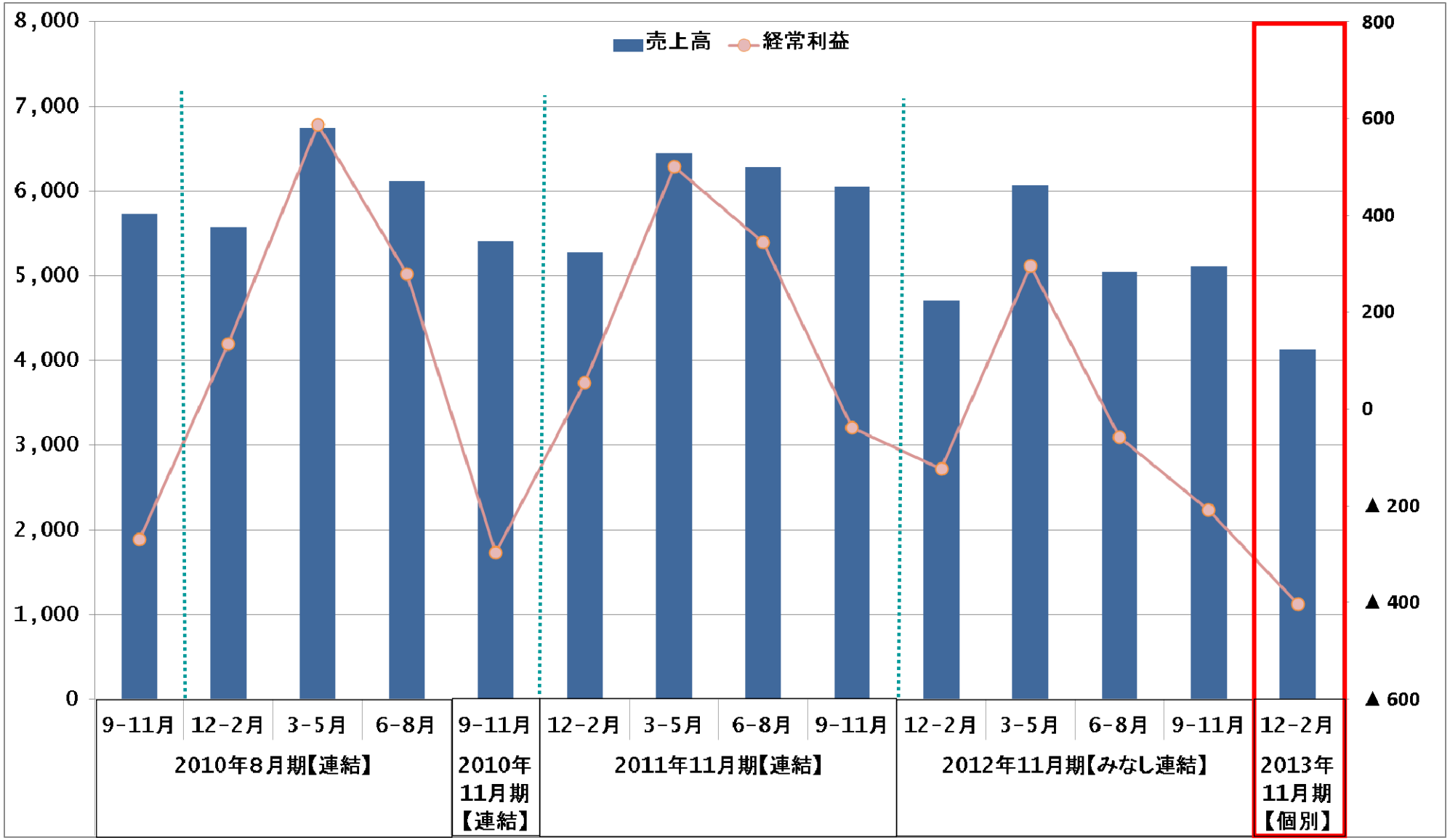
2013年11月期 第1四半期　経常利益増減分析（前年同期比）

（単位:百万円）



四半期毎の売上高＆経常利益

（単位:百万円）



四半期毎の業績

（単位:百万円）

	2011年11月期【連結】				2012年11月期【みなし連結】				2013年11月期【個別】
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	5,275	6,450	6,277	6,052	4,706	6,070	5,052	5,107	4,128
バイク買取事業	4,746	5,817	5,525	5,424	4,196	5,385	4,310	4,340	3,503
バイク小売事業	757	946	1,229	1,030	843	1,294	1,387	1,352	1,080
駐車場事業	144	155	174	169	167	175	179	185	177
内部消去	▲ 372	▲ 468	▲ 652	▲ 572	▲ 501	▲ 785	▲ 824	▲ 770	▲632
売上原価	2,464	2,757	2,936	3,059	2,227	2,650	2,410	2,434	1,973
売上総利益	2,811	3,693	3,340	2,992	2,479	3,419	2,641	2,672	2,155
販売費及び一般管理費	2,795	3,196	2,996	3,046	2,647	3,157	2,736	2,906	2,605
営業利益	15	496	344	▲ 54	▲ 168	262	▲ 95	▲ 233	▲449
経常利益	54	501	344	▲ 38	▲ 114	286	▲ 58	▲ 211	▲403
四半期純利益	55	247	198	▲ 60	▲ 87	267	▲ 98	▲ 148	▲257
売上高季節占有率	21.9%	26.8%	26.1%	25.2%	22.5%	29.0%	24.1%	24.4%	—
経常利益季節占有率	6.4%	58.1%	39.9%	▲ 4.4%	—	—	—	—	—



2013年11月期 第1四半期 業績の概況

【セグメント別】2013年11月期　第1四半期 業績の概況

2013年11月期　第1四半期 財政状態

2013年11月期　通期見通し/配当について

今後の展開について

【バイク買取事業】 2013年11月期　第１四半期 業績の概況

◇今期方針　メインターゲットである手放し層への訴求の強化と、経常損益の黒字化を図る

■前年同期比で減収・減益

● 売上高　：　販売台数の減少等により、　前年同期比　▲693百万円、▲16.5%

【販売台数減少要因】
- お申し込み件数は増加したものの、アポイント率、成約率が低下
- オークション開催日程の関係で、出品台数が減少

【平均売上単価・平均粗利額の低下要因】
- オークション市場における相場が前年同期比で若干下落

● 経常利益　：　上記理由により、前年同期比　▲326百万円

（単位:百万円）

	2012年11月期 第１四半期	2013年11月期 第１四半期	増減額	増減率
売上高	4,196	3,503	▲ 693	▲ 16.5%
経常利益	▲66	▲ 392	▲ 326	—
広告宣伝費	659	742	83	12.6%
買取成約率	85.3%	80.9%	▲ 4.3%	
販売台数(台)	31,281	27,876	▲ 3,405	▲ 10.9%
平均売上単価(円)	132,247	122,493	▲ 9,753	▲ 7.4%
平均粗利額(円)	69,747	63,588	▲ 6,159	▲ 8.8%

【バイク買取事業】広告戦略と取り組み

■前期を踏まえ、「手放し層」向けを強化（但し、企業CMは継続。買い替え層は機を見てチャレンジ）

第１四半期の取り組み　⇒　TV－CM「税金」編の出稿等、計画通りの進捗

今後の取り組み　⇒　TV-CMキャラクターの変更により、『バイク王』ブランドの訴求力向上を図る

求められる要素　当社利用意向度が高い層（20～30代）への訴求＋当社利用意向度が低い層（40～50代）に認知と親しみを与えつつ、ブランディングを強化できるキャラクター

新CMキャラクター　『ルパン三世』
（2013年４月～）

・M1－M2層（20～49歳男性）への圧倒的な認知度と好感度、世代を超えて愛されているキャラクター

・バイクに乗っているシーンが多く展開され、バイクとキャラクターの親和性が高い



新キャラクターの魅力を活かした演出を展開し、幅広い顧客層へのブランド訴求を図り、当社利用意向の向上を目指す

【バイク小売事業】2013年11月期 第1四半期 業績の概況

◇今期方針 ： 収益性向上を図りながら、事業規模を拡大させる

■既存店が好調に推移し、前年同期比で増収

● 売上高　　前年同期比　　236百万円、28.1%増

平均売上単価は下落したものの、既存店の販売台数が好調に推移

● 経常利益　　前年同期比　　35百万円増、 ー

売上高の増加にともない、収益性が改善

（単位:百万円）

	2012年11月期 第1四半期	2013年11月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	843	1,080	236	28.1%
経常利益	▲51	▲15	35	ー
販売台数（台）	1,461	2,019	558	38.2%
平均売上単価（円）	492,564	461,941	▲30,623	▲6.2%
平均粗利額（円）	111,907	104,496	▲ 7,411	▲ 6.6%

【駐車場事業】 2013年11月期　第1四半期 業績の概況

◇今期方針　　既存事業地の収益力向上と新規事業地の開発推進

■料金改定、事業地開発を推進し、堅調に推移

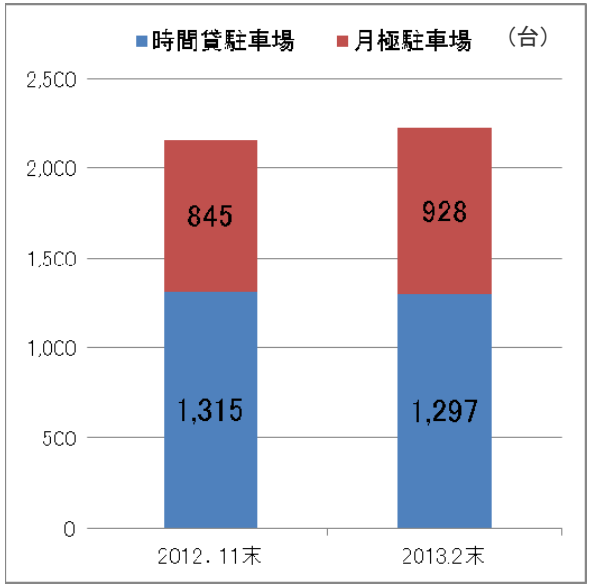
●売上高　　前年同期比　9百万円、5.9%増

●経常利益　　前年同期比　10百万円増、　－

（単位:百万円）

	2012年11月期 第1四半期 （パーク王）	2013年11月期 第1四半期	増減額	増減率
売上高	167	177	9	5.9%
経常利益	▲5	4	10	－

	2012年 11月末	2013年 2月末
時間貸駐車場	1,315	1,297
月極駐車場	845	928
合計	2,160	2,225



※子会社「パーク王」を本体に吸収合併（2012年3月1日付）
目的:駐車場事業はバイクユーザーの利用整備の観点から引き続き重要な事業であり、
「信用力の強化」、「収益性の向上」等を推し進める目的で、当該子会社を当社に吸収合併いたしました。

BIKE-O &COMPANY

2013年11月期 第1四半期 業績の概況

【セグメント別】2013年11月期　第1四半期 業績の概況

2013年11月期　第1四半期 財政状態

2013年11月期　通期見通し/配当について

今後の展開について

2013年11月期　第1四半期　貸借対照表

（単位：百万円）

	2012年11月期 期末	2013年11月期 第1四半期	増減
流動資産合計	3,554	3,207	▲ 346
現金及び預金	1,780	1,575	▲ 204
棚卸資産	1,223	1,198	▲ 25
固定資産合計	2,139	2,161	21
有形固定資産	1,044	995	▲ 49
無形固定資産	82	73	▲ 8
投資その他の資産	1,012	1,091	79
資産合計	5,693	5,368	▲ 325
流動負債合計	1,195	1,187	▲ 8
固定負債合計	333	329	▲ 4
負債合計	1,529	1,516	▲ 12
純資産合計	4,163	3,851	▲ 312
負債・純資産合計	5,693	5,368	▲ 325
株主資本比率	73.0%	71.6%	▲1.4%

注　主要な科目を抜粋して表示しております。

増減ポイント

株主資本比率71.6%と引き続き財務の健全性維持

資産の部
≪流動資産の減少　▲346百万円≫
現金及び預金204百万円、売掛金166百万円、商品26百万円の減少等による

≪固定資産の増加　21百万円≫
その他（繰延税金資産）81百万円増加も、減価償却等により有形固定資産および無形固定資産57百万円の減少による

負債・純資産の部
≪流動負債の減少　▲8百万円≫
賞与引当金21百万円、その他（未払消費税等）30百万円増加も、未払金45百万円、未払法人税等12百万円の減少等による

≪純資産の減少　▲312百万円≫
四半期純損失257百万円および株主配当による利益剰余金55百万円の減少等による

BIKE-O &COMPANY

2013年11月期 第1四半期 業績の概況

【セグメント別】2013年11月期　第1四半期 業績の概況

2013年11月期　第1四半期 財政状態

2013年11月期　通期見通し/配当について

今後の展開について

2013年11月期　損益計算書

（単位:百万円）

	2012年11月期 実績		2013年11月期 予想		増減額	増減率
	金 額	百分比	金 額	百分比		
売上高	20,768	100.0%	21,403	100.0%	634	3.1%
売上原価	9,566	46.1%	9,800	45.8%	233	2.4%
売上総利益	11,201	53.9%	11,602	54.2%	401	3.6%
販管費	11,429	55.0%	11,505	53.8%	76	0.7%
営業利益	▲ 227	―	96	0.5%	324	―
経常利益	▲ 92	―	224	1.1%	317	―
当期純利益	▲ 62	―	73	0.3%	136	―

注） 2012年11月期2Qより非連結決算に移行しております。

今後取り組む施策

■外部環境

オークション市場の相場は前期に対して若干下落傾向にあるものの、当社が見込んだ範囲内で推移
今後については、円安による海外バイヤーの積極的な参加が見込まれるなど明るい兆しもあるが、
現時点では想定通りで推移することを見込む

■買取事業

・前期の課題を踏まえ、繁忙期（3～4月）の業務オペレーションを見直すことで買取台数を確保する

・CMキャラクター変更により、幅広い顧客層への訴求力向上を図り、当社利用意向の向上を図る

■小売事業

・営業力強化を推進し、引き続き既存店舗の収益性向上を図る

・バイク王ダイレクトSHOPを2店舗新規出店し、事業規模の拡大を図る

2013年11月期　配当予想について

■2013年1月11日発表の配当予想金額

2013年11月期（予想）　年間1,000円（中間500円、期末500円）

■単元株制度の採用にともなう株式分割の実施

株式分割	単元株制度
普通株式1株につき100株	新設する単元株式数　100株
基準日　平成25年5月31日（金）	効力発生日　平成25年6月1日（土）

現在の株式数	1株	6月1日からの単元株式数	100株
現在の1株当たり配当予想額	500円	期末の1株当たり配当予想額	5円
		期末の1単元当たり配当予想額	500円

投資単位1単元に対する配当予想額500円は変更なし

普通株式1株につき100株の株式分割を実施し、分割した株式100株を1単元に括り直すため、期末の1株当たり配当予想額は5円となるが、配当予想額は1単元（100株）で500円、中間と合わせて年間1,000円となり実質的な配当額の変更なし

BIKE-O &COMPANY

【個別】2012年11月期（累計） 業績の概況

【セグメント別】2012年11月期（累計） 業績の概況

【個別】2012年11月期（累計） 財政状態

【個別】2013年11月期 通期見通し/配当について

今後の展開について

買取＆小売の事業モデル　概念図

「買取主体の事業モデル」から「買取　＆ 小売の事業モデル」へ移行を図る

買取主体の事業モデル

バイクユーザー

手放し層

買　取　バイク王

小　売　バイク王 ダイレクトSHOP

業者向けバイクオークション

買取＆小売の事業モデル

バイクユーザー

手放し層

買い替え層

買　取　バイク王

小　売　バイク王 ダイレクトSHOP

オペレーションの融合・再構築

（プロモーション/受付/物流/システム）

業者向けバイクオークション

各事業の位置付け

バイク買取事業は引き続きコアビジネス

規模を維持しながら事業基盤として収益力を強化

×

両事業の融合によるシナジーの創出

バイク小売事業は次なる成長の柱

第二の事業の柱と位置付けているバイク小売事業の規模を拡大

■店舗網・物流網について

店舗網・物流網の効率化を推進

買取専門店「バイク王」は、物流網、小売店の配置等を鑑みながら効率化を推進

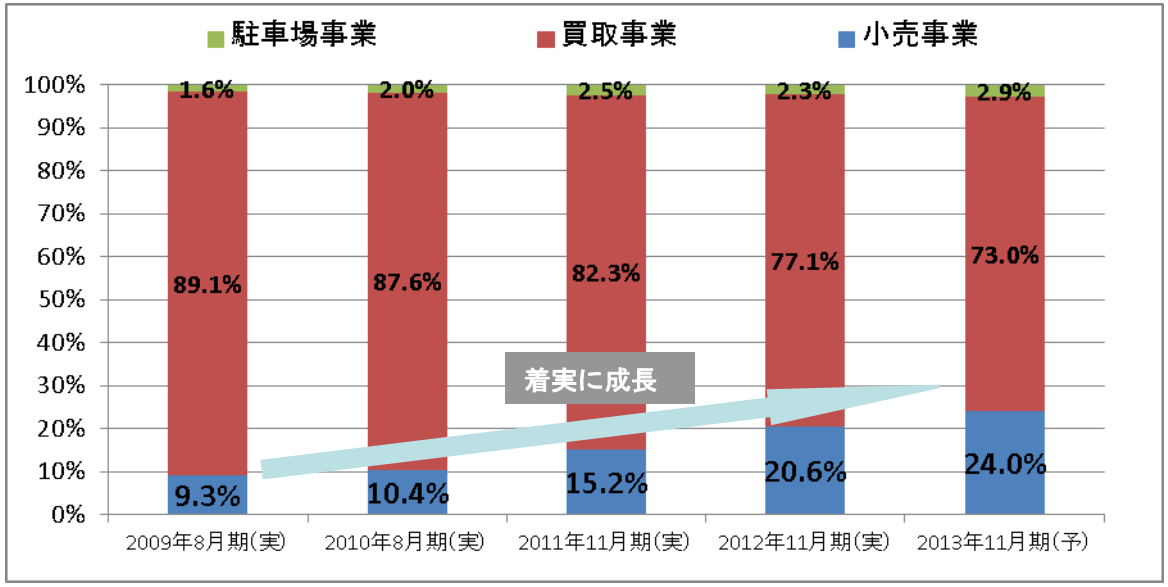
2012年11月期　92店舗⇒2013年11月期　91店舗

「バイク王ダイレクトSHOP」は２店舗を新規出店

2012年11月期　11店舗⇒2013年11月期　13店舗

その他、物流拠点の移転を1拠点予定

■内部取引消去前セグメント別売上高構成比



BIKE-O &COMPANY

【参考資料】

会社概要、ビジネスモデル等

会社概要、沿革

会社名	株式会社バイク王＆カンパニー
本社所在地	〒150-0012東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階 TEL03-6803-8811 FAX03-3409-5050
事業内容	バイクの購入から売却までをトータルプロデュースする流通サービス業
設立	1998年9月(創業1994年9月)
資本金	585百万円(2012年11月末日現在)
売上高	20,768百万円(2012年11月期)
従業員数	893名(2012年11月末日現在)
役員 代表取締役会長 代表取締役社長 取締役副社長 取締役 取締役(社外) 常勤監査役 監査役(社外) 監査役(社外)	 石川　秋彦 加藤　義博 大谷　真樹 山縣　俊 齊藤　友嘉 産形　昭夫 諏訪　浩 山口　達郎

	バイク王＆カンパニーの沿革
1994年	9月　前身となるメジャーオート(有)を設立 以後、7法人を設立
1998年	9月　㈱アイケイコーポレーションを設立 その後、グループ会社を順次統合
2002年	12月　初のロードサイド店舗「バイク王新潟店」(新潟県新潟市)がオープン
2004年	2月　バイク王テレビCMがオンエア開始
2005年	3月　独自の基幹システム「i-kiss」が本格稼働 6月　ジャスダック証券取引所に上場 9月　初の小売販売店「i-knew」を出店
2006年	3月　駐車場事業を営む㈱パーク王を設立 8月　東京証券取引所市場第二部に上場
2008年	6月　小売販売ブランド「バイク王ダイレクトSHOP」を立ち上げ
2009年	8月　バイク王が100店舗展開に
2010年	12月　決算期の変更(8月⇒11月)
2011年	3月　株式会社ユー・エス・エスおよび株式会社ジャパンバイクオークションとバイクオークション事業に関する業務・資本提携を開始 4月　「株式会社ジャパンバイクオークション」を株式取得(当社出資比率:30.0%)により関連会社化
2012年	9月　商号変更(旧社名:㈱アイケイコーポレーション)

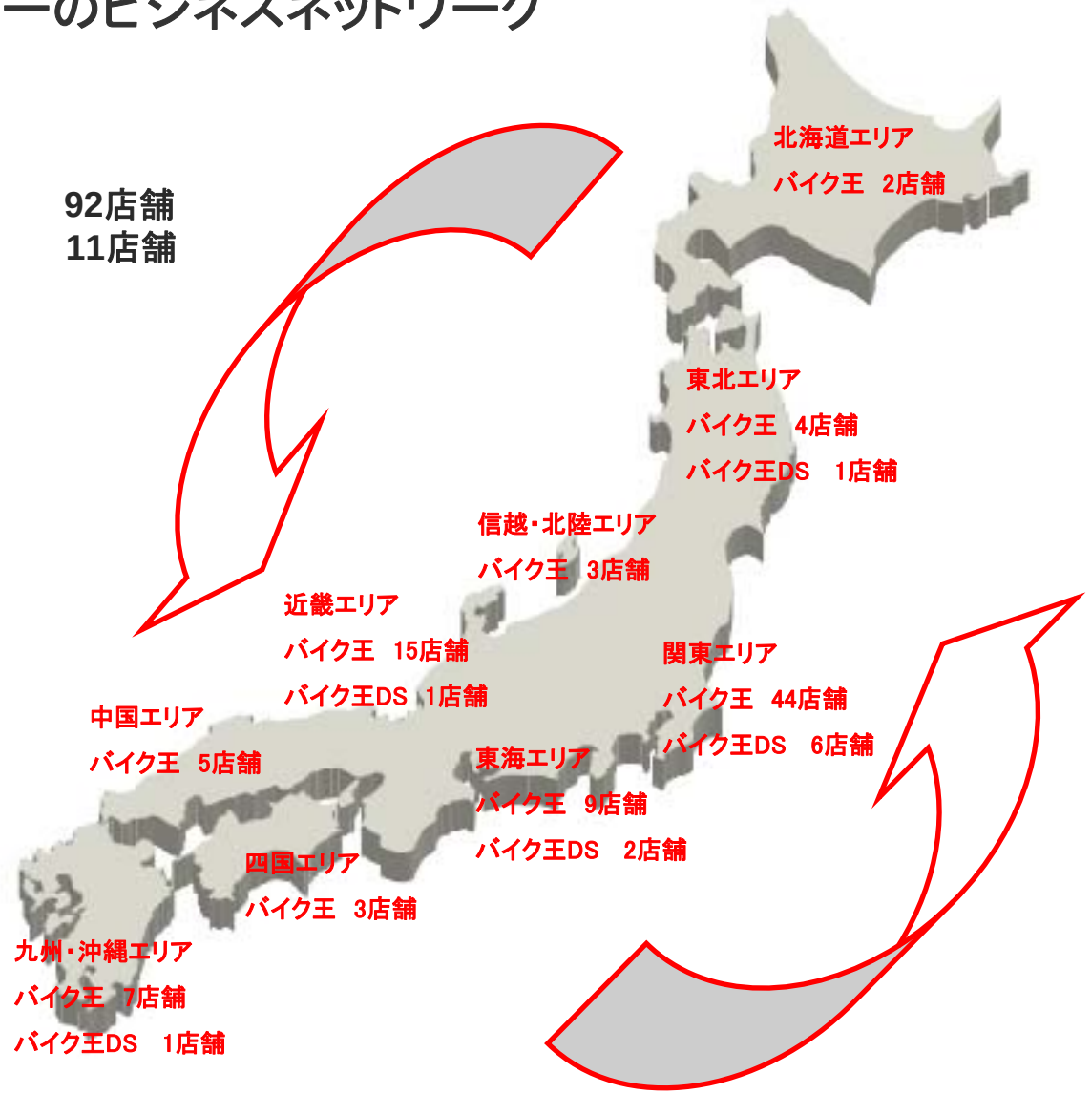
■全国に広がるバイク王＆カンパニーのビジネスネットワーク

◆本社

◆バイク買取店　バイク王　92店舗
◆バイク小売店　バイク王ダイレクトSHOP　11店舗

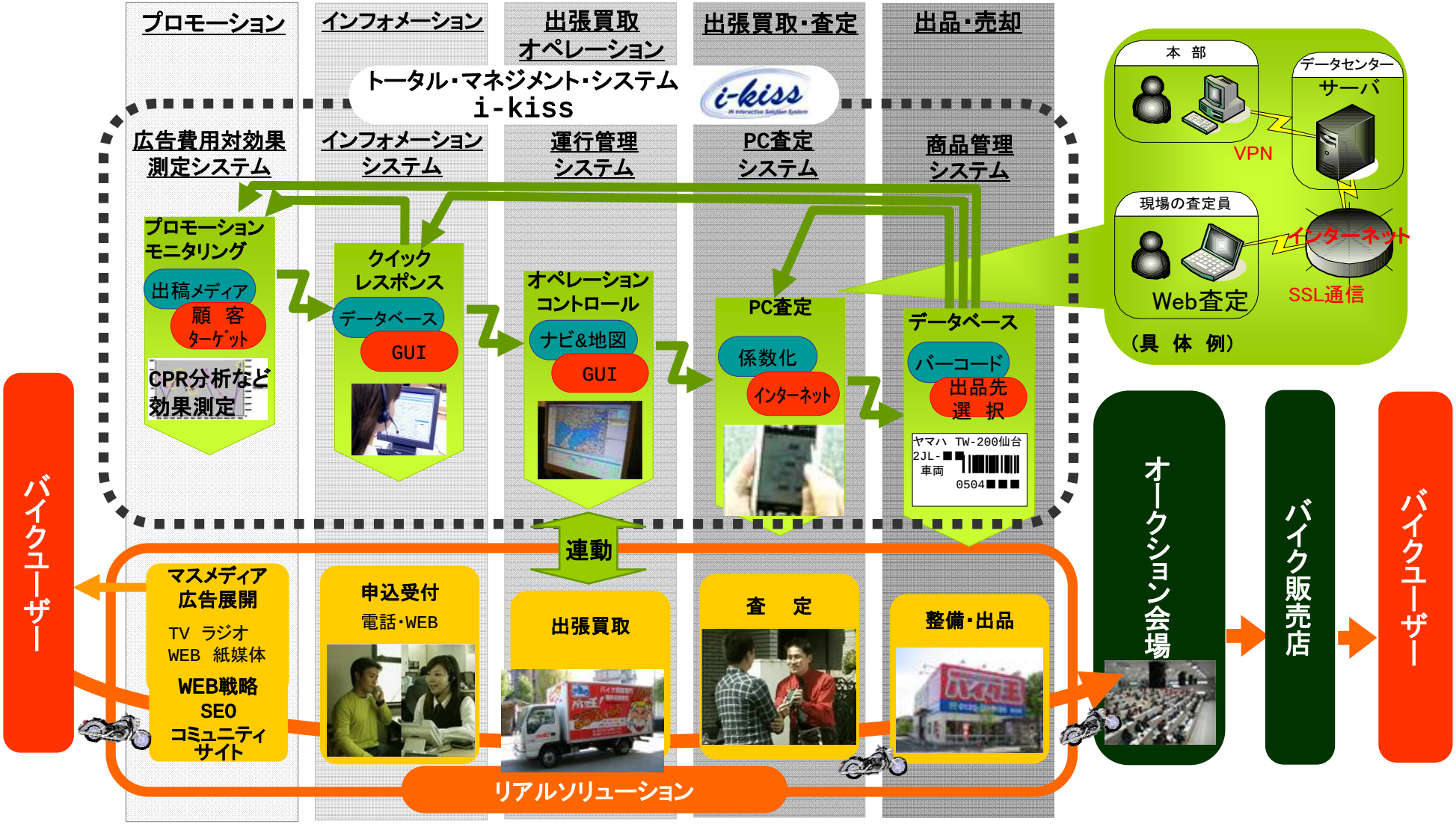
◆インフォメーションセンター＜さいたま＞
◆第二インフォメーションセンター＜秋田＞

◆横浜物流センター
◆さいたま物流センター
◆筑波物流センター
◆名古屋物流センター
◆神戸物流センター
◆福岡物流センター

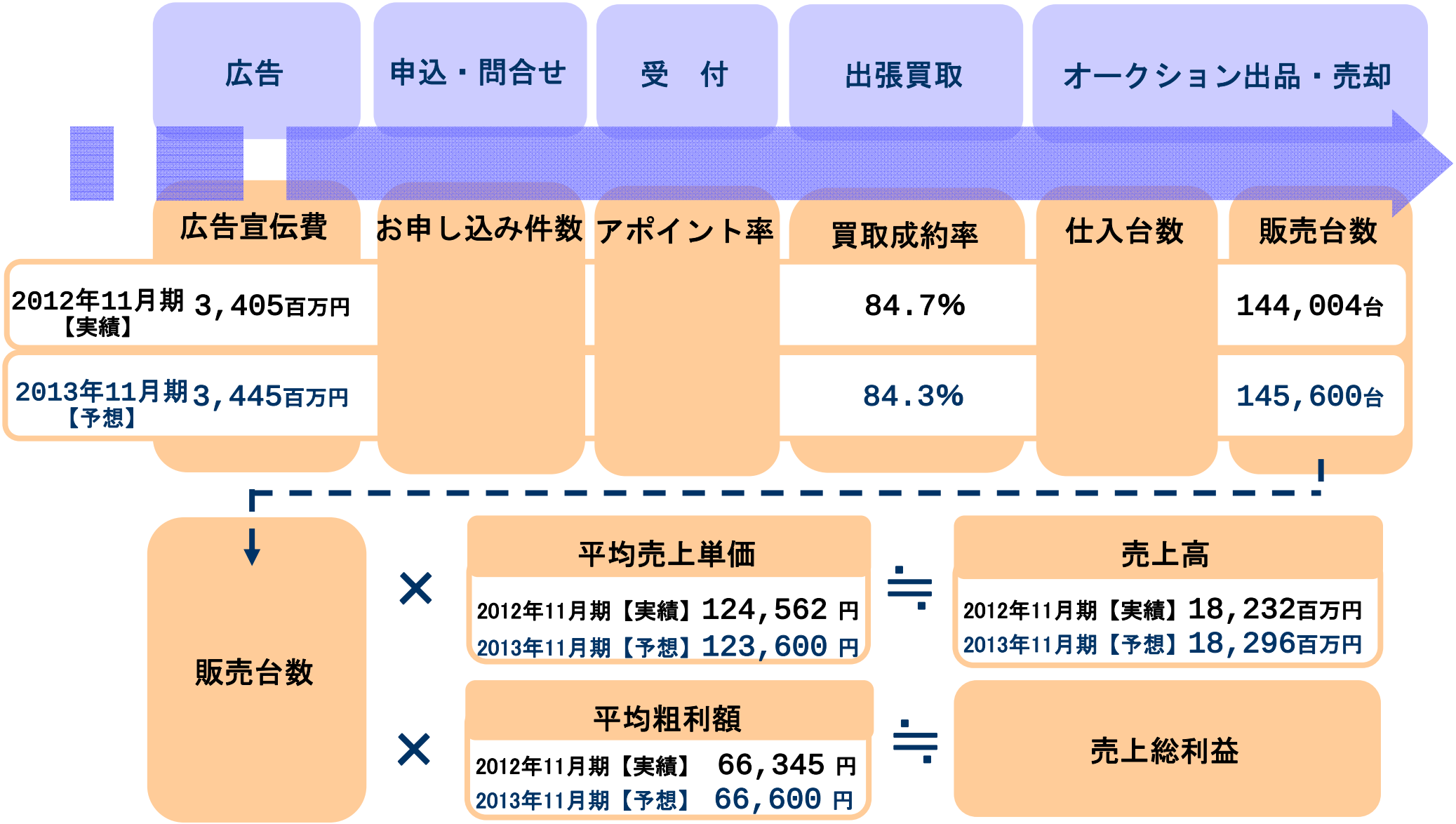


中古バイク買取販売のビジネスモデル

■ビジネスモデルとそれを支えるITシステム

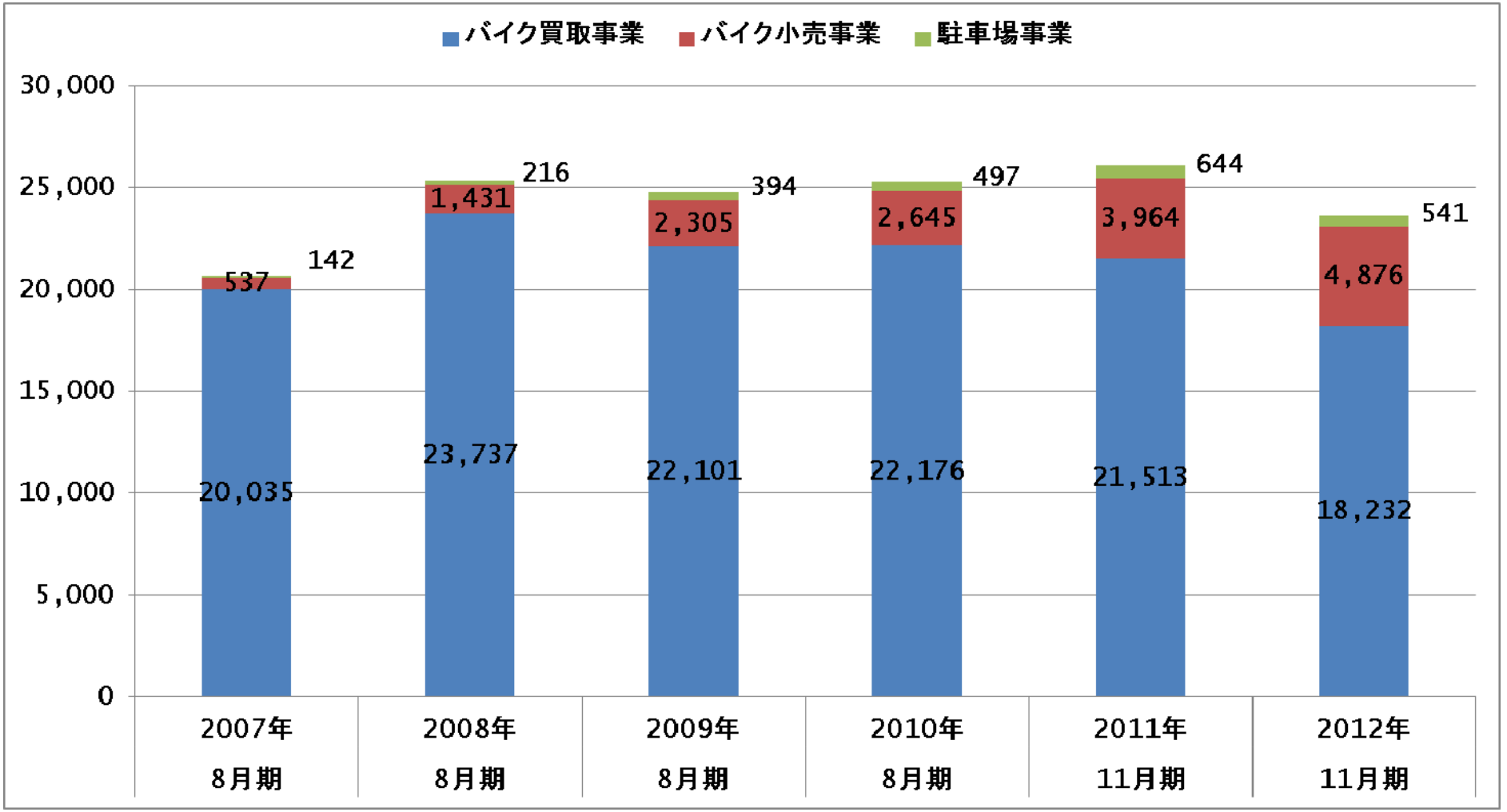


中古バイク買取販売のビジネスフロー



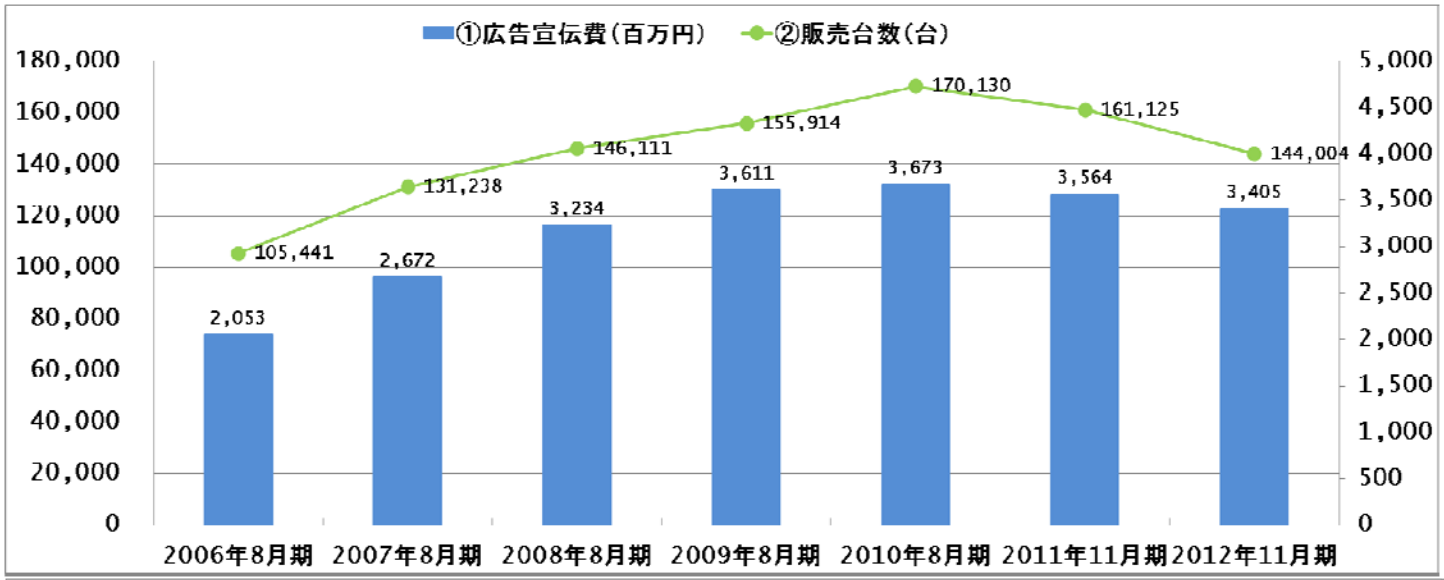
セグメント別　売上高推移

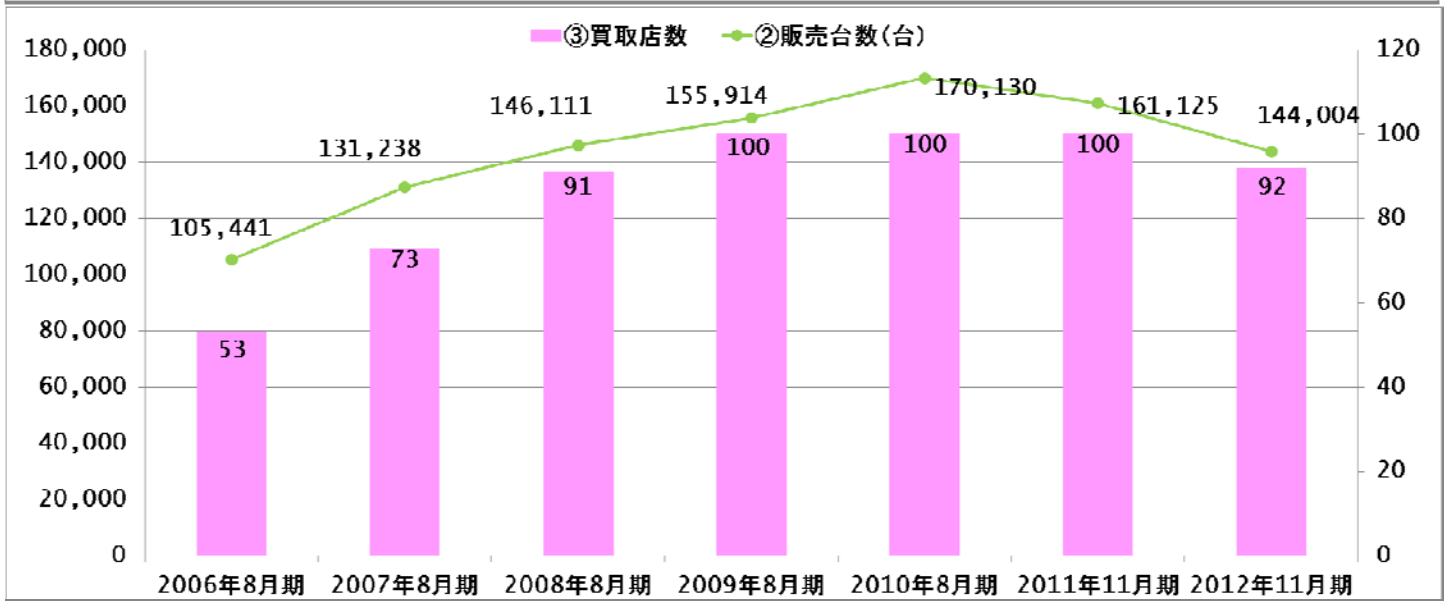
（単位:百万円）



注　2010年11月期は決算期変更（8月⇒11月）にともなう3ヶ月決算のためグラフを省略しております。
注　2010年11月期にセグメント区分の変更を行っておりますが、影響が軽微であるため、過年度遡及を行っておりません。

【バイク買取事業】
広告宣伝費、販売台数、店舗数推移





注　2010年11月期は決算期変更(8月⇒11月)にともなう3ヶ月決算のためグラフを省略しております
注　2010年11月期にセグメント区分の変更を行っておりますが、影響が軽微であるため、過年度遡及を行っておりません

マーケット環境の概要①

■国内保有台数は全体として微減傾向も、比較的価値の高い原付二種以上の保有台数は微増傾向

保有台数の推移

（単位:千台）

		2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
125cc以下	原付一種（～50cc）	8,134	7,902	7,694	7,448	7,154	6,796
	原付二種（51～125cc）	1,397	1,429	1,479	1,511	1,540	1,571
125cc超	軽二輪（126～250cc）	1,950	1,976	1,996	1,992	1,975	1,959
	小型二輪（251cc～）	1,452	1,478	1,505	1,524	1,535	1,542
合計		12,935	12,787	12,675	12,477	12,205	11,870

（出所）一般社団法人日本自動車工業会/各年3月末日ベース　※2012年原付一種・二種は二輪車新聞推定値

■125cc超の中古流通台数は概ね堅調。新車販売台数は二年連続で40万台を維持

中古流通台数の推移

（単位:千台）

	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
125cc以下	—	—	—	—	—	—
125cc超	551	571	558	553	541	687
合計	—	—	—	—	—	—

（出所）二輪車新聞　※2012年より小型二輪の集計方法変更

新車販売(出荷)台数の推移

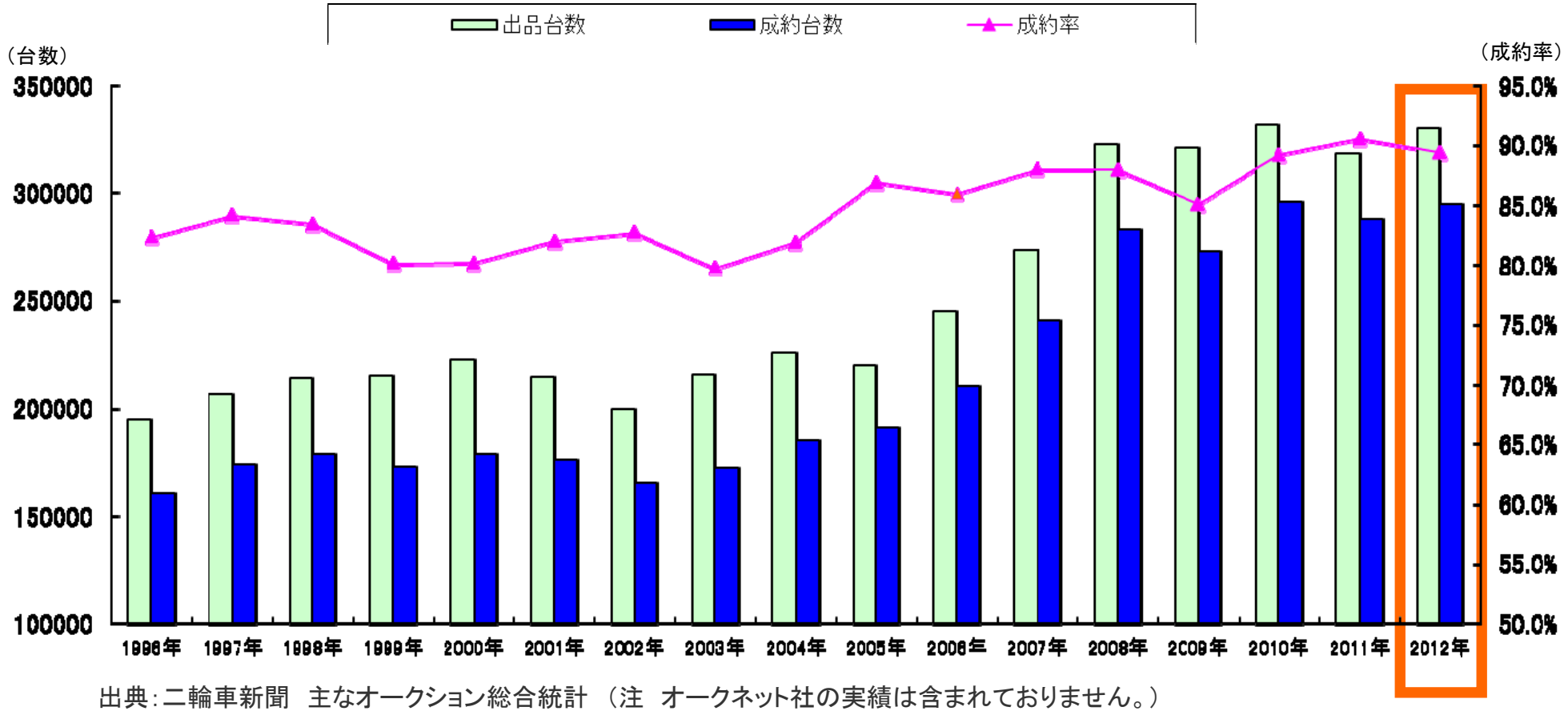
（単位:千台）

		2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年
125cc以下	原付一種（～50cc）	458	295	255	231	257	247
	原付二種（51～125cc）	100	120	65	96	95	88
125cc超	軽二輪（126～250cc）	86	55	37	27	31	40
	小型二輪（251cc～）	40	49	22	25	21	26
合計		684	522	380	380	405	401

（出所）一般社団法人日本自動車工業会/暦年ベース　※2012年は二輪車新聞速報値

マーケット環境の概要②

■当社の主要販売先であるバイクオークション市場の動向

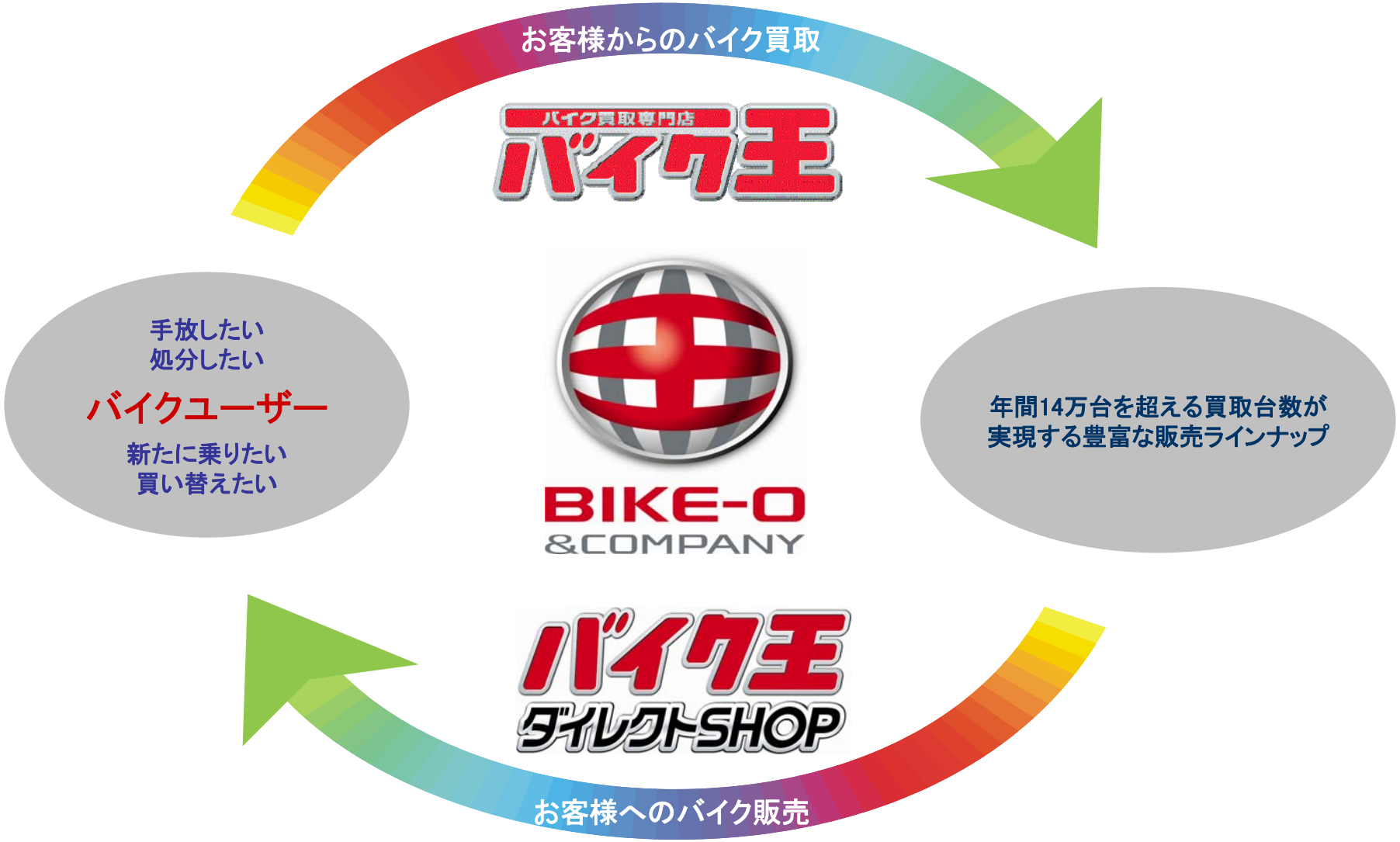


出典：二輪車新聞　主なオークション総合統計　（注　オークネット社の実績は含まれておりません。）

2011年の出品・成約台数は、横ばい。成約率は堅調

2012年の出品・成約台数は増加　成約率は横ばい

バイク王＆カンパニーが実現するリユースサイクル



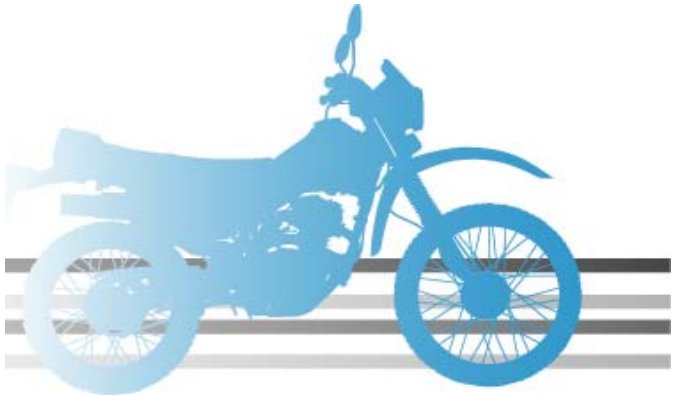
バイクオークション

BIKE-O &COMPANY
株式会社バイク王＆カンパニー

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料の作成は正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害について、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績が言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることがあることをご承知ください。



【連絡先】企画本部経営企画グループIR担当

TEL：03-6803-8855

http://www.8190.co.jp/company/